

VII 臨時的調査研究の概要

本研究への取り組みの可能性を探る予備試験、あるいは情報収集として次の課題を実施した。今後関連する研究への手がかりとなる情報が得られた。

課 題 名	内 容	担 当 者
スギ(とっとり沖の山)における低密度植栽の影響についての実証試験	秋植えの実績がない、耐雪性に優れたスギの品種である「とっとり沖の山」を積雪地において 2000 本/ha の低密度植栽で秋植えを行い経過観察している。	山増 成久
ショウロを利用したクロマツ苗木の活着率向上試験	ショウロと根付保水材法を組み合わせ、より簡易で活着に効果的な植栽技術を確立することを目的として植栽試験を行った。 根付保水材法及びショウロ孢子懸濁液を用いた根付保水材法による処理を行うことで、活着率が向上した。	矢部 浩
はい積み保管による燃料用丸太の水分量変動の把握	燃料用丸太の含水率管理と含水率低減手法に関する基礎資料とするのを目的に、小規模にはい積みした丸太の含水率について経時変化を調査した。その結果、夏期に設置開始した丸太は、径が小さく、南側に設置したもののほど含水率低減量が大きかった。対して冬期に設置開始した丸太は、含水率の変動はみられず、屋根やシートをかけておいたほうがよいと思われた。	森田浩也
ヒノキ板材の表面改質による接着性能改善効果の検証	ヒノキ材で良好な接着性能を確保することを目的に、板表面のサンディング加工が接着性能に及ぼす影響を検証した。その結果、サンディング加工によってブロックせん断性能や剥離率の向上が認められ、サンディング加工がヒノキの接着性能の改善に効果があることがわかった。	川上敬介